

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)博多区那珂六丁目プロジェクト	階数	地上14F
建設地	福岡県福岡市博多区那珂6丁目333	構造	RC造
用途地域	準工業地域、法22条地域	平均居住人員	286人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年9月 予定	評価の実施日	2020年12月28日
敷地面積	2,627㎡	作成者	上井孝仁
建築面積	573㎡	確認日	2020年12月29日
延床面積	5,757㎡	確認者	東 政志



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.1

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合	室内環境については内装材は全てF☆☆☆☆のものを使用し、更には耐用年数の長い配管材を使用することで配慮している。室外環境については外皮に断熱材を使用することや、設備の高効率化を図ることで配慮している。	その他 0
Q1 室内環境	内装材は全てF☆☆☆☆のものを使用することで配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) 適切な量の緑地づくりを行っている。
LR1 エネルギー	外皮に断熱材を使用することや、設備の高効率化を図ることで配慮している。	LR3 敷地外環境 適切な量の駐車場・駐輪場を設けている。
Q2 サービス性能	耐用年数の長い配管材を使用している。	
LR2 資源・マテリアル	舗装等にリサイクル資材を使用している。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される